

1. 科目名 (単位数)	社会教育経営論 (4単位)		3. 科目番号	
2. 授業担当教員	栗山 究			
4. 授業形態	講義、演習 (調査研究、グループワーク含む)	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係	本科目は、社会教育主事資格および社会教育士称号取得のための必修科目の一つであり、他の社会教育に関する科目の展開編に位置づけられる。2年次春学期・秋学期に開講される「生涯学習概論」「生涯学習支援論」を受けて、4年次に開講される「社会教育実習」につなげるため、3年次春学期に開設される。従って、受講に際しては「生涯学習概論」を修得済であることが望ましい。			
7. 講義概要	この授業では、社会教育の「事業・活動の経営」・「施設の経営」の両面に焦点をあて、その理念と実践に求められる指導理論、具体的手法等について解説する。本科目は、これまでの社会教育・生涯学習の分野とは違い、時代の変化に対応して新たに展開される理念に基づき、特に地域づくり、地域創生、学校教育支援に果たす社会教育・生涯学習の役割について検討する。地域社会で活動しているさまざまな住民や関係団体、組織が連携してネットワークづくりにどう貢献できるか支援する社会教育・生涯学習の役割を「経営的視点」から解説する。限りある財源を有効に生かすため、事業展開や施設の管理運営など新たな手法が求められている。住民一人ひとりが学びを通して住みよいまちづくりに参加するために何ができるのかを考えたい。			
8. 学習目標	地域コミュニティが激しく移り変わる今日、地域住民は日常生活を営む上で様々な課題に直面している。たとえば防災、福祉、健康、子育てなど生活環境の充実に対し、従来の公共サービスは見直しを迫られている。社会教育・生涯学習においても、計画的な行政運営はもとより、他分野との横断的な課題解決のためネットワーク行政が求められている。地域の将来発展のため、住民の意識向上や参加度を進めるエリア・マネージメントの手法を取得することが社会教育専門職には求められている。 本科目の学習目標としては、受講者が①社会教育事業・活動の理解とその経営の意義を説明できるようになること、②社会教育施設の使命を理解し、地域住民の学習支援という観点からの施設づくりとその活用および社会教育経営の意義を説明できるようになることを目指す。			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	本授業では、2つのレポート作成 (クラス内でのプレゼンとグループワークに活用する) および期末レポートが課題となる。これら一連のアサインメントを踏まえてそれぞれの地域で展開される社会教育を経営という観点から獲得していくため、授業展開の建付けを理解し、各種課題は計画的に仕上げてほしい。それぞれのレポート課題に向けては、各自の興味や問題関心に即して、各自で文献・実践記録等を収集し、整理する時間等が必要となる。また、クラス内での話しあい学習の内容を把握し、相互に理解しあっていくことが求められる。授業内容や討議・演習で気づいたことを自分なりにふりかえる時間を自覚的につくり、配布資料は各自でファイルなどを用意してまとめておき、予習と復習に十分に活かしてほしい。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 各回授業テーマに応じて、担当教員が作成・編集した資料や学習記録を配布する。 【参考書】 ①『月刊社会教育』国土社・旬報社、1957年～毎月刊行。②田中雅文・中村香編『社会教育経営のフロンティア』玉川大学出版部、2019年。③山本珠美・熊谷愼之輔・松橋義樹編『社会教育経営の基礎』学文社、2021年。④荻野亮吾・丹間康仁編『地域教育経営論』大学教育出版、2022年。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 本科目に対する基本的な知識が習得できたかどうか。 2. 他のメンバーと共同してグループワークに取り組むことができたか。 3. 課題を認識しつつ、自分の考えをもつことかできたかどうか。 ○評定の方法 1. 授業への取り組み姿勢、グループワークへの参加度、協力度 総合点の30% 2. 授業内での課題提出 (発表資料の作成、コメント用紙の提出) 総合点の20% 3. 期末試験 (期末レポートを含む) 総合点の50%			
12. 受講生へのメッセージ	(1) 本授業は、主として演習形式で展開するので、授業内容の理解は、毎回の授業に連続して出席することで深まります。授業展開の建付けをしっかりと理解し、各種課題は計画的に仕上げ、正当な理由なしの欠席や遅刻は避け、自ら授業をつくっていく心づもりで主体的・積極的に授業に臨んでください。受講者相互の問題意識や興味関心の程度に応じ、さまざまな現場を紹介する機会も適時、設けていきます。 (2) 授業内の話し合い学習を踏まえ、可能な限り自分の暮らす地域をはじめ、地域内外の諸活動を、そこで学びあっている住民や住民の学びを支える人たちとともに深めていく機会をつくってみてください。自分なりに学んだ内容をふりかえり、その内容を探究していこうとする姿勢や行動は、積極的に応援していきたいと思えます。			
13. オフィスアワー	個別での質問や相談等は、各回授業開始前・終了後の時間に対応します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	社会教育経営の視座：社会教育行政の役割と変容	事前学習	生涯学習概論・生涯学習支援論での学習内容を復習してくる。	
		事後学習	これまでの授業内容を確認し、本授業の建付けを理解しておく。	
第2回	基本用語の確認：学校教育、社会教育、生涯学習	事前学習	生涯学習概論で学習した「社会教育」「生涯学習」などの概念の関連を復習してくる。	
		事後学習	授業内で確認した基本用語の概念を自らのものとして捉えられるようにする。	
第3回	学校教育、社会教育の相違と連携	事前学習	生涯学習概論で学修した「学校教育」「社会教育」概念の相違と関連を復習してくる。	
		事後学習	授業内で確認した専門用語の概念を自らのものとして捉えられるようにする。	
第4回	日本の生涯学習政策の動向と課題	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。	

		事後学習	授業内容でわからなかった点を次回授業で質問できるよう、指定文献をふりかえる。
第5回	社会教育経営の基本構図 AAP サイクル	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	授業内で確認した専門用語の概念を自らのものとして捉えられるようにする。学期末レポートに向けた準備を進める。
第6回	社会教育を実践する多様な任意組織 (1) 青年団	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	授業内容でわからなかった点を次回授業で質問できるよう、指定文献をふりかえる。
第7回	社会教育を実践する多様な任意組織 (2) 社会教育関係団体	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	授業内で確認した専門用語の概念を自らのものとして捉えられるようにする。
第8回	社会教育を実践する多様な任意組織 (3) NPO	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	授業内容でわからなかった点を次回授業で質問できるよう、指定文献をふりかえる。
第9回	社会教育行政の経営戦略 PDCA サイクル	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	授業内で確認した専門用語の概念を自らのものとして捉えられるようにする。
第10回	基礎自治体の社会教育計画 (1) 事例の先行調査 (対象、現状把握、課題設定、目標)	事前学習	社会教育計画の策定・運用・評価等の手法を確認する。
		事後学習	課題レポート作成に向けて準備を進める。
第11回	基礎自治体の社会教育計画 (2) 事例の持ち寄り (手順、期間、点検、評価等)	事前学習	検討する基礎自治体の社会教育計画を持ち寄る。
		事後学習	読み進めた社会教育計画のポイントをふりかえる。
第12回	基礎自治体の社会教育計画 (3) 事例の調査 (住民が参画する教育計画づくり)	事前学習	作成した課題レポートのプレゼン準備を行う。
		事後学習	地域住民が参画する社会教育経営の視点・方法を考え、疑問点等をまとめる。
第13回	計画から経営へ① 教育委員会制度と首長部局	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	教育委員会制度の特徴とその今日の変容に至る過程を考えておく。
第14回	計画から経営へ② 指定管理者制度とNPM	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	指定管理者制度の特徴を考え、その背景にある思想上の特徴や課題を整理しておく。
第15回	社会教育施設の経営① 社会教育施設の多様性	事前学習	生涯学習概論の学習内容をふりかえり、社会教育施設の概念を復習しておく。
		事後学習	経営という視点から社会教育施設を見つめる視座を確認しておく。
第16回	社会教育施設の経営② 公民館の制度	事前学習	自身の経験から公民館とは何かをイメージしておく。
		事後学習	寺中構想に示された理念を確認する。
第17回	社会教育施設の経営③ 公民館の歴史	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	高度経済成長期に提起された各種テーゼに込められた理念を確認する。
第18回	社会教育施設の経営④ 公民館の実践	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	自治公民館論や中間支援施設論の考えを確認し、人口減少社会の施設像を考察する。
第19回	地域をつくる社会教育① 学習と地域活動の循環	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	「学びの循環」概念を理解し、地域と社会教育の関連構造を把握する。
第20回	地域をつくる社会教育② 教育福祉と地域づくり	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	「教育福祉」概念を理解し、地域と社会教育の関連構造を把握する。
第21回	社会教育施設の経営⑤ 図書館の制度	事前学習	自身の経験から図書館とは何かをイメージしておく。
		事後学習	「格子なき図書館」「市民の図書館」に示された理念と「図書館の自由」を確認する。

第22回	社会教育施設の経営⑥ 図書館の実践	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	地域社会に根ざす図書館論に示された理念を確認する。
第23回	社会教育施設の経営⑦ 博物館の制度	事前学習	自身の経験から博物館とは何かをイメージしておく。
		事後学習	近代博物館の理念と問題を確認する。
第24回	社会教育施設の経営⑧ 地域博物館の実践	事前学習	事前指定した文献資料を読み、わからない言葉は何かなど質問を用意して臨む。
		事後学習	地域博物館論に示された理念を確認する。
第25回	社会教育職員の役割① 地域博物館の実践を事例に	事前学習	事前指定した文献資料をグループワークで実施する課題レポートにまとめてくる。
		事後学習	地域社会に根ざす博物館論に示された理念を確認する。
第26回	社会教育職員の役割② グループ検討	事前学習	グループワークで気づいた視点をふりかえり、質問を用意して臨む。
		事後学習	グループワークを振り返り、社会教育施設を運営する視点をあらためて検討する。
第27回	実践事例の検討① 受講生からの事例発表	事前学習	学期末レポートをまとめてくる。
		事後学習	グループワークで気づいた視点をふりかえっておく。
第28回	実践事例の検討② グループ検討	事前学習	グループワークで気づいた視点をふりかえり、質問を用意して臨む。を終えてのまとめを考えておく。
		事後学習	グループワークを振り返り、社会教育施設を運営する視点をあらためて検討する。
第29回	社会教育経営の展開と課題	事前学習	全体のまとめとして事前指定した文献資料を読んでくる。
		事後学習	文化政策との関連を確認し、社会教育経営の今後の展開の可能性を考察する。
第30回	社会教育施設経営の展開と課題	事前学習	前回授業を踏まえ「ネットワーク型行政」の可能性と課題を考察してくる。
		事後学習	本授業の学習内容をふりかえり、社会教育経営という視座を自分のものとする。